

編 輯 後 記

日支の風雲愈々急に日本内地は動員で一般にざわついて居る様であるが滿洲の空氣は微動だもしてゐない。心強い次第である。傲慢なる國民政府主腦部を徹底的に叩き倒して幾億の支那民衆を壓制者の手から救ひ出し滿洲國に次ぐ王道樂土を建設してやるのが東洋の盟主日本の義務であらねばならない。

滿洲も9月に入つてからめつきり涼しくなつてしまつた。大陸の秋は極めて短いで寒くなるのももうすぐである。極寒に對する色々の調査研究の下準備に着手しなければならぬ。

米田正文氏によつて書かれた土壤凍結論は今月號から逐次掲載されるが時節柄興味を引くものである。尙交通

部では大陸科學院と協力して此の冬を期し酷寒地に於て地盤の凍上、基礎杭の浮上り等寒氣に對する研究を開始する筈であるがその結果は刮目して待たれる。原口氏の「滿洲の河川に就て」も段々本筋に入り興味深いものがある。照井氏の南滿各地の水害狀況も恰度時節柄の讀物であるし片岡氏の水電の話も又一般の興味をひくにちがひない。

編輯部員一同の努力により本誌の體裁も段々と整へられ全く見違へる様になつた。健康兒がすくすくと育つてゆくを見てゐるのは心持のよいものである。我々も一所懸命勉強する心算だが尙會員諸君の切なる御後援を期待してやまない。(江守)

康德4年9月10日印刷 康德4年9月15日發行（非賣品）

發行者	新京特別市元壽胡同五〇八	江 守 保 平
編輯者	新京大同自治會館144號	帆 足 萬 州 男
印刷者	大連市若狹町三三番地	太 田 信 三
印刷所	大連市若狹町三三番地	小 林 又 七 支 店

新京特別市城後路 交通部道路司内

發 行 所 滿 洲 土 木 研 究 會

□ 座 番 號 新 京 1141 番